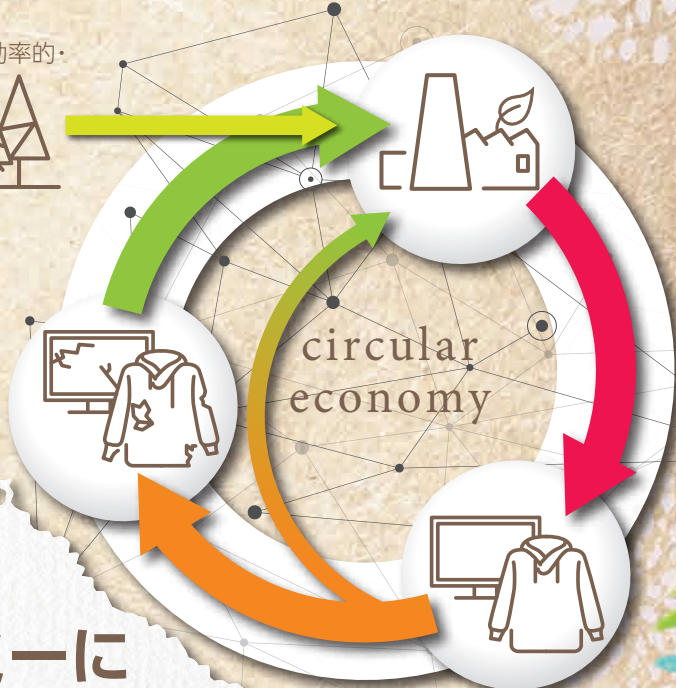


オンライン  
配信予定

# サーキュラーエコノミー(循環経済)と 資源循環の見える化の取り組み

今、日本を含む世界各国で推進されている「サーキュラーエコノミー」。「サーキュラーエコノミー」は「循環経済」といわれ、あらゆる段階で資源の効率的・循環的利用を図りつつ、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制を目指した新しい経済システムとして注目を集めています。本セミナーでは、サーキュラーエコノミーの考え方や具体的な取組事例などを紹介します。



令和5年11月22日(水) 13:30~16:30

会場:TKP札幌カンファレンスセンター  
カンファレンスルーム7A  
札幌市中央区北3条西3丁目1-6 札幌小暮ビル7階

**対象** 資源循環関連産業に従事されている方又は関心のある方

**講演その1** 13:40~14:20 (講演時間40分程度)

## なぜサーキュラーエコノミーに 取り組むべきなのか?

今や世界の潮流となりつつある「サーキュラーエコノミー」、その注目される背景、基本の考え方、国内外の動きや取組などを紹介します。

環境事業コーディネーター **柴田 真年 氏**  
(元(公財)北海道環境財団補助事業局長)

**講演その2** 14:25~15:10 (講演時間45分程度)

## 静脈資源の見える化による、 サーキュラーサプライチェーンデザインについて

Circularity Design Tool - poolを活用し、廃棄物のデータ化によるサーキュラーサプライチェーンを実装した事業を紹介いたします。東京都と共同で立ち上げたプラスチック資源循環プロジェクトについて、poolによって資源回収を効率化し、資源の排出から再資源化までのトレーサビリティ情報を担保したスキーム構築の具体的な事例とともにお伝えします。

レコテック株式会社Circularity Designer **大村 拓輝 氏**

**参加者意見  
情報交換会**

(講演終了後  
1時間程度) 講演者も参加したフリーな意見・情報交換の場です。

**申込方法**

Googleフォーム受付

①所属②部署名③お名前④メールアドレス⑤メール以外の連絡先⑥参加方法(会場参加・オンライン参加)  
①~⑥の必要事項をご入力の上、令和5年11月17日(金)17:00まで送信いただくと、参加受付完了のメールが返信されます。オンライン参加の方には後日メールにて視聴用URLをお送りいたします。

※会場参加の受付は先着順とさせていただきます、会場の定員に足した時点で、受付を終了させていただきますので予めご了承ください。



主催:北海道(環境生活部循環型社会推進課)

お問合せ先:アド・ビューロー岩泉 TEL011-727-6001 E-mail recycle5@iwaizumi.co.jp

セミナー終了後、アーカイブ配信予定 →

